平成26年度 １次公募 ものづくり･商業･サービス革新補助金

革新的サービス
設備投資

# 設備導入による 効率的･高品質な時計修理販売事業 「修理マイスター」の展開

株式会社 フジヤマ時計店

## 概 要

真空乾燥器・防水試験機・自動洗浄機などの設備導入を行い、弊社の高度な時計を守る修理技術をより効率化・高品質化させる。そうすることで、業界の課題解消に応えると共に、街の時計店の1ランク上（修理マイスター）となり、収益向上を行う。



部品洗浄用自動洗浄機



水没した時計を内部まで乾燥させる真空乾燥装置




アナライザー Q1はクォーツ時計の精密検査を行う



アーム付顕微鏡に変えてから作業が格段に楽になった

## 企業情報

| | |
|---|---|
| 会 社 名 | 株式会社 フジヤマ時計店 |
| 代 表 者 | 代表取締役 栗林 英法 |
| 所 在 地 | 〒874-0919 大分県別府市石垣東6丁目8番30号 |
| T E L | 0977-22-8818 |
| F A X | 0977-75-9928 |
| U R L | http://fujiyama.ocnk.net/ |
| 事業内容 | 時計修理販売 |
| 資 本 金 | 100万円 |
| 創 業 | 平成10年3月 |
| 設 立 | 平成26年2月 |
| 社 員 数 | 2名 |





## 背景・経緯

### 時計の進化とともに変化していった町の時計店のビジネススタイル

かつて定期的なメンテナンスが必要な機械式時計が全盛だったころは、市どころか小さな町にもかならず時計店があった。当時の時計店では、定期的な修理やオーバーホールで顧客との信頼を築き、同時に新品の時計も販売するというビジネスモデルが構築され、どの店も大忙しだったという。だが、ほとんどメンテナンスの必要がないクォーツ時計の登場によりビジネスモデルが変化し、店で時計の修理をすることがほとんどなくなった。そして今、その全盛期に時計修理を行っていた時計職人たちが、高齢化に直面している。後継者不足や技術継承の困難さなどから、かつて存在した多くの時計店が店を閉めているのが現状で、この流れはこの先、さらに加速していくと考えられる。

株式会社フジヤマ時計店は、そんな状況のなかにあって近年、起業した時計の修理と販売を行う店だ。店主の栗林氏も40代後半と、時計修理の世界では貴重な働き盛りの世代といえる。栗林店主は、時計蒐集が高じて時計の修理を始めたという人物。そのため、家業としての時計修理の職人とはちがう目線を持っているようだ。その根底にあるのは時計に対する深い愛情で、最新の設備と最高の技術で、時計の性能を蘇らせることを第一に考えているという。

## 事業内容

### メーカー修理により近づく“最高のナンバー２”になるために

同時計店では、町の時計店では置いていないような高性能設備を積極的に導入するようこころがけている。これは「高価だが、修理するならメーカーに出すのが一番いいのが当然。だが町の時計店も、できる限りメーカーに近い仕事をやらなければいけない。とりあえず動けばいいというレベルの仕事が時計店をダメにする」という店主の考えによるものだ。メーカーよりは安く、でもそれに準ずるレベルの修理を保証書付きで行う。これが修理を行う町の時計店の本来の姿だと店主は考えている。今回の補助金も、よりレベルの高い作業を実践するために活用された。

今回、導入されたのは、真空乾燥装置や部品洗浄用自動洗浄機、防水試験機など数点の機械や機器。真空乾燥装置は水没した時計を内部まで乾燥させるもので、部品洗浄用自動洗浄機は洗浄中に発生する異臭（ガス）なども抜くという。これらはどれも時計メーカーにあるような本格的な設備だが、メーカーの修理に準ずる仕事をするためには、設備も準じたものになるのも当然だ。これらの設備を見るために各地の同業者が見学に来るという。

**まとめ**

設備を整えて技術を
さらに向上させ、
修理マイスターとして
店の付加価値を高める。

## 成　果

### 集中力と根気を要する作業を改善する画期的な最新機器

検証した結果、以下の改善がみられたという。

作業効率（時間コスト）
（特殊な工程である防水試験機・真空乾燥装置・サンドブラスターコンプレッサーを除く工程で時間を算出）
導入前：修理品１本　390分所要（１人当たり）
導入後：修理品１本　170分所要（１人当たり）
１本当たり220分の時間短縮・56.4%の削減。

修理処理能力
（特殊な工程である防水試験機・真空乾燥装置・サンドブラスターコンプレッサーを除く工程で計算）
導入前：修理品　１日（８H）　1.3本（１人当たり）
導入後：修理品　１日（８H）　2.8本（１人当たり）
処理能力が2.2倍に向上。

これら作業効率と処理能力の改善により、時計修理１本の粗利益も大幅に増加したという。

## 展　望

### 設備・技・プロ意識の３つを高めて客に選ばれる時計修理店に

充実した設備と高度な技術で時計修理を行うフジヤマ時計店。だが店主は、さらに技術を磨いていきたいと話す。設備にしても、今の状態が「時計修理を行う最低限の環境。このくらいの設備で修理をしなければ時計が可哀想だ」という。そこには、時計に対する深い愛情が感じられた。

同業者の見学を受け入れることは、ある意味、ライバルに手の内を見せているともいえる。だが、そうやって同業者への周知を広げて意識を高めていくことで、時計修理業界と顧客、その両方を守りたいのだという。実際に、これら高額な設備を町の時計店が自力で揃えるのは困難だろう。だが補助金を活用することで、この問題は解決できた。そういうノウハウも伝えていきたいようだ。

腕時計をしない人も増えてはいるが、アンティーク腕時計や高級腕時計には愛好家も多く、技術さえあればニーズは必ずあるという。実際に同時計店には、全国から多くの修理依頼が舞い込んでいるのだ。高い技術とプロ意識を持った同時計店が、これからの時計修理業界の一翼を担っていくのは間違いないだろう。